

医学部

(昭和地区)

医学科では、人体、生命の神秘を追求し、疾病の本態を解明し、それを克服するための方策を探究するとともに、優れた医師、真摯な医学研究者を養成することを目的としている。ここでの教育目標は、学生が将来、医師又は研究者となるために、医学の基本的知識を理解し、医療及び医学研究に必要な基本的技術を修得し、さらに医師として患者に接する真摯な態度と生涯にわたる自己学習の習慣を体得することにある。

保健学科においては、人間として、保健医療の専門職として、確固たる倫理観と豊かな人間性を持ち、その社会的使命を果たすことのできる人材の育成を図るとともに、総合的で先進的な教育・研究を展開することを目的とする。

医学部

学 科	入学定員	学 科 目
医 学 科	108 [15]	医倫理学 生命医学 応用医学 卒前臨床実習（クリニカル・クラークシップ） 実践臨床病態学

学 科	専 攻	入学定員	学 科 目
保 健 学 科	看 護 学 専 攻	80	基礎看護学、臨床看護学、母子看護学、地域看護学
	検 査 技 術 科 学 専 攻	40	基礎検査学、応用検査学
	理 学 療 法 学 専 攻	20	基礎理学療法学、総合理学療法学
	作 業 療 法 学 専 攻	20	基礎作業療法学、心身障害作業療法学
			医療基礎学
	計	160 (10)	

注：[] 内の数字は2年次編入学定員を表し、外数である。() 内の数字は3年次編入学定員を表し、外数である。

医学系研究科（修士課程）

専 攻	入学定員
修士課程 生命医科学専攻	15



基礎講義棟



学習室（石井ホール）



専攻別説明会（検査）

医学系研究科（博士課程）

専攻		入学定員	講座	専攻分野
博士課程	医科学専攻	57	脳神経病態制御学	脳神経再生医学、病態病理学、脳神経内科学、脳神経外科学、眼科学
			脳神経発達統御学	神経薬理学、遺伝発達行動学、分子細胞生物学、神経精神医学、麻酔神経科学
			高次細胞機能解析学（協力講座）	細胞構造、分泌制御、生体膜機能
			器官代謝制御学	生体構造学、病態制御内科学、泌尿器科学、産科婦人科学、臨床薬理学
			器官機能制御学	生化学、機能形態学、応用生理学、臨床検査医学、整形外科学、臓器病態内科学
			代謝・内分泌学（協力講座）	細胞調節、遺伝生化学、代謝シグナル解析
			生体機能解析学（連携講座）	生体機能解析学
			病態腫瘍制御学	病態腫瘍薬理学、病理診断学、病態総合外科学、腫瘍放射線学、放射線診断核医学、顎口腔科学、臓器病態外科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、肝胆膵外科学、*バイオイメージング情報解析学、*分子画像学、*がん治療臨床開発学講座
			重粒子線医学（協力講座）	重粒子線医学物理・生物学、重粒子線臨床医学
			遺伝情報・発現学（協力講座）	遺伝子情報、ゲノム科学リソース
			生体防御機構学	分子予防医学、細菌学、国際寄生虫病学、法医学生体統御内科学、小児科学、皮膚科学
			社会環境医療学	公衆衛生学、医学哲学・倫理学、総合医療学、救急医学、リハビリテーション医学、情報医療学（協力分野）
生体情報学（協力講座）	シグナル伝達、分子細胞制御			

*印は、寄附講座

保健学研究科（博士課程）

専攻		入学定員	ユニット又は領域
博士前期課程（修士）	保健学専攻	50	基礎保健学ユニット、応用保健学ユニット、地域・国際保健学ユニット
博士後期課程（博士）		10	看護学領域、生体情報検査科学領域、リハビリテーション学領域
計		60	

附属研究施設

名称	内容
医学系研究科附属生物資源センター	実験動物を用いた研究教育の材料や環境を安定的に提供し、医生物学研究の基盤施設として学内に広く貢献している。また、医生物学の研究教育における動物実験倫理、動物福祉の徹底にも努めている。
医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設	本邦で唯一の薬剤耐性菌に関する専門的研究施設である。社会的に大きな問題になっている細菌が薬剤に対して耐性を獲得するしくみを遺伝学的、分子生物学的に研究している。